

科目名	医療安全	分野/教育内容	専門分野/看護の統合と実践
開講年次 時期	2年 前期～後期 令和6年6月13日	単位数/時間	1単位/30時間
担当 講師名	山田 貴子 先生	所属・役職	宮古病院 医療安全管理室 上席医療安全管理専門員
		資格・免許	看護師
	畠山 千章	所属・役職	宮古高等看護学院 専任教員
		資格・免許	看護師
授業の 概要	医療安全の基礎的知識を習得し、医療現場での安全対策の実践を理解する		
到達目標	1. 人間の特性を踏まえ、医療事故とヒューマンエラーの原因・対策を理解する 2. 過去の事例を通して看護を行う上での危険因子を理解する 3. 事故を未然に防ぐための対策を考えることができる		
事前学習 内容	事前に教科書を読んでおく		
成績評価の 方法	筆記試験①（50点）・・・山田先生 筆記試験②（40点）、レポート評価（10点）・・・畠山		
使用教科書 参考文献	看護の統合と実践② 医療安全（メディカ出版、第5版第1刷、2023） 参考）医療安全ワークブック（医学書院、第4版第4刷、2022） 参考）ヒヤリハットに学ぶ看護技術（医学書院、第1版第15刷、2021）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		講師
1	第1章 医療安全と看護の理念（P.14～）		山田先生
2	第2章 医療安全への取り組みと医療の質の評価（P.38～）		
3	第3章 事故発生のメカニズムとリスクマネジメント（P.82～）		
4	第5章 看護業務に関連する事故と安全対策①（P.140～）		
5	第5章 看護業務に関連する事故と安全対策②（P.172～）		
6	第7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策（P.216～）		
7	KYT（グループワーク）		演習
	筆記試験①		
1	臨地実習における安全管理① 安全な実習のための心得（P.242～） コミュニケーションの重要性		畠山
2	臨地実習における安全管理② 学生のインシデント事例の分析		
3	在宅看護における医療事故と安全対策（P.194～）		
4	コミュニケーション・情報管理の事故防止（グループワーク）		
5	療養上の世話の事故防止（グループワーク）		
6	診療の補助の事故防止（グループワーク）		
7	臨地実習で経験したヒヤリハット事例の共有と分析		
	筆記試験②		
履修上の 留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず読んでから授業に臨むこと 2. 授業で行われる事例内容や関連する看護技術の基礎的知識について意欲的に学習すること 3. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動すること 4. グループワークは、ブレインストーミングにより行う		